上海社会科学院
法学研究所

（中華人民共和国）

（Shanghai Academy of Social Sciences）

交流協定締結年月日：1996年9月2日　主管学部：法学部

国際交流の特色（大学紹介）

1958年に設立され、上海市によって運営されている人文・社会科学分野における中国を代表する研究機関の一つ。SASSは、上海市からその基金の大部分を受けて運営されているが、様々な国内外の民間団体から資金援助を受けている。17の研究所と20を超える学際的な研究センターがあり、700名を超えるスタッフを擁し、その実績は、自治体や政府当局のために大きな貢献をしている。また、数多くの刊行物の水準も高く評価されている。国際交流の面では、60以上の外国大学と協力協定を締結し、毎年1,000名以上の外国人の学者や専門家を受け入れ、多くの国際会議を主催している。

教員からの声

教員からの声

上海社会科学院法学研究所　金　永明
2009.7.24

上海社会科学院法学研究所と香川大学法学部・法学研究科との学術交流に関する協定が結ばれて以来、両機関間での学術交流(共同研究、会議の出席など)が実質的に進み、かなりの成果をあげた。例えば、法学研究所の研究者が二度香川大学国際交流基金の招聘で来日し、学術研究をしていた。私も、2007年に1ヶ月間、香川大学法学部の先生と環境に関する共同研究をした。また、法学部の好意で学部生向けの講演もした。私にとってこれはなかなかよい勉強のチャンスであった。今でも香川大学法学部・法学研究科の先生をはじめとする先生方への感謝の気持ちでいっぱいである。さらに、共同研究者のいろんな面でのご指導なども心より感謝している。特に香川の特産は風味もよく覚えている。この他に、香川大学法学研究科長も、法学研究所が主催の環境法のシンポジウムに参加するため上海に来られ、日本における環境法に関する最新内容の講演をしたことも、私たちにとって日本の環境法を理解するに際し大変役に立った。このような学術的な交流を一層進めていくことを心より祈願している。幸いに、2009年香川大学法学部の国際交流に携わる先生がわざわざ上海を訪問し、両機関間の学術交流を一層進めていくことに同意し、今後幅広い、多種多様な学術交流を通じて、かなりの成果を挙げられることを信じている。頑張ろう。

＊注：金先生は、同僚の何先生とともに2010年6月4日から6日まで、香川大学を訪問されました。お二人は、法学部で中国法の講義もされました。また、『香川法学』第29巻第3・4号（2010年3月）に、金先生の「中国における海洋安全問題および海洋に関する法制度の整備について」と題する論稿が掲載されています。

上海社会科学院
(Shanghai Academy of Social Sciences)
ホームページ　http://www.sass.org.cn/

●教職員　760 人